

民生児童委員活動を振り返って



稚内市東地区民生児童委員協議会
藤田 喬

私は、平成4年に当時の町内会長から推されて何も分からず、また知識も無く引き受けてしまい委嘱状を伝達されました。本当に大変なことになってしまったと思いましたが、逃げるわけにも行かず覚悟を決めました。

早速、民児協の歓送迎会に臨みましたが、どの様な状況で、どの様な雰囲気だったのか、ほとんど記憶にありません。その後は、毎月(第1水曜日)定例会が開催されました。当時は定例会の会場が現在のように固定されず月毎に変わりました。東地区は委員数が多かったため、大変賑やかで活気があり私のような新人が発言できるような雰囲気ではなかったです。

ある会議の時でしたが、先輩委員から各家庭等へ訪問する時に、「私、民生委員の誰々です。」と「堂々と名乗り訪問できるようになれば一人前だよ。」と言われました。この言葉は今でも忘れることはありません。

現在では滅多に耳にすることはありませんが、全くなくなったわけではありませぬ。

私は民生児童委員になる前から、5年以上町内会のお手伝いをしていたので、訪問する事は実践していたため、苦にはなりませんでしたが、でも、民生委員の誰々ですとは中々言えず、町内会の誰ですと先に言っていました。

現在では、何とも思わず担当区域であれば訪問でき、何でもお話し相談できるようになりました。私の担当区域は当時発展中の新興住宅地でしたので、どちらかという若い世代の家庭が多く、民生委員が関わるようなことはほとんどなかったです。でも地域家庭の実情を把握するため「世帯調査福祉票」を作成し、今後の活動に備えました。

その後は、この世帯福祉票を基本にして色々な生活上の相談に応じ、自立の援助に非力ではありますが一生懸命努めてきました。

お陰様で地域の皆様のご理解ご協力を頂き、また委員諸先輩、仲間の皆さんのご指導ご協力を頂きました。

心から感謝を申し上げますと共に、民生委員児童委員に委嘱され努めてこられたのは、私の歩んできた人生の中でこの上ない幸福でした。ありがとうございました。

民生委員児童委員に就任して



稚内市東地区民生児童委員協議会
中 恵実

令和元年の秋、前任の方から「民生委員をお願いしたい。」との打診を受けました。

「民生委員？何をやるの？私でいいの？etc。」

仕事もしてるし、町内の活動もあるし、子育てもまだ終わってないので、私は「今はまだ無理ですよ。」と、サラッとお断りしようと思っていました(笑)。

でも、「出来る事を出来る範囲で構わないの、ぜひ中さんにやって欲しいの」と言ってもらい「こんな私でも何かのお役に立てるかしら？」と思い、意を決して民生委員を引き受ける事にしたのでした。

何も分からず、まささらな状態の中、前任者からの引き継ぎや初任者研修等で、少しずつ民生委員の役割等を知っていくほどに不安や戸惑いが大きくなっていきます。初めて参加する例会もドキドキし、初任の挨拶もあり、何を話したかも覚えていません。

そして、コロナ騒動で出鼻をくじかれ、どう活動していいかもわからない上に活動自粛。民生委員になったのに、何も活動していない事への申し訳なさで、気持ちばかりが焦る日々でした。

ですが、社協の方々をはじめ、同じ地区の先輩民生委員の方や町内の民生委員の方々に、わからない事や不安な事を聞いてアドバイスを頂いた際、皆さんが「一人で抱え込まないように、何でも相談して、無理はしないようにね。」と言って下さりました。そんな声かけを沢山頂き、今は最初の頃の不安は薄れて「自分に出来る事をまずは一生懸命やってみよう。」と思えるようになりました。

今まで知らなかった福祉についても、改めて勉強になる事が沢山あります。平凡な主婦だった私が、これからどう地域の方々と関わり、どう変わっていくのか、不安もいっぱいですが、少し楽しみでもあります。少しでもお役に立てる民生委員になれるよう、頑張っていこうと思っています。「出来る事を出来る範囲で無理をせず」に。

新任民生児童委員



岡 晃
富林 小

受賞者

【北海道社会貢献賞】

- 社会事業関係功労者
- 藤本 英文
 - 古川 三治
 - 柴田 泰明

【全国社会福祉協議会 会長顕彰】

- 民生委員児童委員功労者
- 一名

【全国民生委員児童委員連合会会長表彰】

- 民生委員児童委員功労者
- 藤本 英文

